

高瀬女性セミナー

～高瀬女性セミナー、阿蘇の大自然と学びの旅へ～

高瀬女性セミナーでは、公民館を飛び出し阿蘇方面へ秋の研修旅行に出かけました。参加者13名が集まり、自然と学び、そして笑顔あふれる充実した1日となりました。研修のスタートは南阿蘇鉄道のトロッコ列車 乗車から、窓のない開放感あふれる車内で、阿蘇の壮大な自然の中をゆっくりと進む列車旅。目の前に広がる溪谷や阿蘇山の絶景に、参加者からは思わず歓声が上がりました。さらに、車掌さんのユーモアたっぷりのガイドに笑いが絶えず、楽しい時間を過ごしました。トロッコ列車の旅を終えると、待ちに待った 昼食タイム へ。事前に注文していた料理は地元の食材をふんだんに使った絶品料理。美味しい食事を囲んで、参加者同士の会話も一層弾み、終始笑顔が絶えない和やかな時間となりました。

研修の締めくくりは 熊本地震・震災ミュージアム の見学。ボランティアガイドさんが丁寧に展示物を説明してくださり、震災当時のリアルな状況や被害の大きさに胸が締めつけられました。「自然の脅威」を目の当たりにしながら、災害への備えや日頃の心構えの重要性を改めて感じる貴重な学びの時間となりました。

今回の研修旅行は、阿蘇の雄大な自然を体感し、笑顔と学びを共有する心に残る1日となりました。「また来年も参加したい！」という声も多く聞かれ、素晴らしい研修となりました。

広報
たかせ

第236号
令和7年1月1日
日田市高瀬公民館
館長 高田 義友
主事 荒倉 寿也
電話：24-2705
FAX：24-4075



震災直後に止まった時計



隆起し変形した、東海大学の玄関口
東海大学の学生も犠牲となった。



破壊された阿蘇大橋の橋げた部分



車窓から望む雄大な阿蘇の溪谷



高瀬公民館運営委員会、
福岡市博物館と福岡管区気象台を視察研修

午前中に訪れた福岡市博物館では、歴史と文化が詰まった展示物の数々に触れ、特に教科書でもおなじみの「金印」の本物を目にした際には、参加者一同その輝きと存在感に感動しました。貴重な歴史遺産を間近で鑑賞し、福岡の歴史の奥深さを改めて感じる事ができました。

昼食を済ませた後、午後の研修先である福岡管区気象台へ向かいました。気象台では、天気予報や災害予測がどのように作られているのかを学び、最新の観測機器やデータ解析についての説明を受けました。自然災害への備えの大切さを改めて実感しました。

歴史と科学、両方を学ぶことができた今回の視察研修は、地域活動や防災意識の向上にもつながる有意義な一日となりました。



座学では、気象庁の作業内容について学びました。



子育てサロン
サンタがやってきたよ

12月の子育てサロンでは、クリスマスが近いこともあり、クリスマス会を開催しました。今回は、9組の親子が参加し、楽しい時間を過ごしました。会場にはクリスマスツリーや飾り付けがされ、子どもたちは目を輝かせながらクリスマスモードを楽しんでいました。親子で協力して作るクリスマススクラフトや、クリスマスソングに合わせたリズム遊びが行われ、参加者からは笑顔があふれていました。

また、サンタクロースも登場し、子どもたちにプレゼントを手渡す場面もありました。子どもたちは大喜びで、サンタさんにありがとこの言葉を伝える姿が印象的でした。

次回の子育てサロンも楽しい企画を準備しておりますので、ぜひご参加ください。



新年のごあいさつ

高瀬公民館長
高田 義友

新年明けましておめでとうございます。高瀬地区の皆様には、穏やかで健やかな新年をお迎えること存じます。

また、日頃より、公民館の事業に積極的にご参加、ご協力いただき、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、3年ぶり開催の新春懇親会に始まり、高瀬地区の自治会や団体の行事がコロナ前の状況に近い実施となってきました。特に、高瀬三世代ふれあい祭りは6年ぶりの開催となり多くの方々に参加して頂きました。皆様のご協力のおかげで活気が戻ってきたと感じました。

今年も公民館主催事業や自主学習教室などの参加者増に向けて新しい取り組みを考え、高瀬地区、学校等々の皆様に協力を仰ぎながら高瀬地区、高瀬公民館の活性化に繋がりたいと思います。

加えて、2年前から「高瀬の歴史」を引き継ぐ形で「高瀬史編修委員会」の活動を行っています。活動内容は月1回の意見交換会、1日研修会、市の歴史講座参加、公民館だよりへの投稿などです。興味のある方はぜひ公民館へご連絡下さい。また、写真で残す高瀬の歴史を目的に「気まぐれ写真館」の写真も募集中です。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。